

開設科目名：(肢体不自由児心理・指導法 (R8認定講座))

<開講日>

1日目：令和8年10月3日(土)
2日目：令和8年10月4日(日)

<開講場所>

神戸キャンパス

<科目の概要>

以下の内容について肢体不自由児を中心としながら、知的障害児・病弱児を包含しての講義を行う。
①身体の構造と機能、肢体不自由の病理、②動作不自由に対する指導、③運動障害についての理解と援助、④ICFと目標指向的アプローチ、⑤肢体不自由児教育と療育の歴史、⑥肢体不自由教育における教育課程の編成、⑦特別支援教育における諸計画と実態把握、⑧二次的問題の予防と社会資源の活用

<時間割表>

実施日	実施時間	講義、演習、実験、実習、実技等の実施計画
1日目	9:30～16:50	オリエンテーション、講義①②③④⑤⑥⑦⑧
2日目	9:30～17:05	オリエンテーション、講義⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮、試験、アンケート

第1日 講師(石倉 健二)

区分	時間	内容
	9:30～9:40	オリエンテーション
講義①②	9:40～11:10	<身体の構造と機能、肢体不自由の病理> 内容：運動器と肢体不自由、筋・骨格系、神経系、神経系の疾病と障害、神経系以外の疾病と障害、運動に関する発達性の不調、などについて人体模型等を用いながら解説する。
講義③④	11:20～12:50	<運動障害についての理解と援助> 内容：基本的介助法、医学的リハビリテーションと運動機能訓練、義肢装具、車イス、座位保持装置、などについて一部に実物も用いながら解説する。
講義⑤⑥	13:40～15:10	<動作不自由に対する指導> 内容：自立活動における指導の手立てについて、動作法、などについて一部に演習も取り入れながら解説する。
講義⑦⑧	15:20～16:50	<ICFと目標指向的アプローチ> 内容：ICFの基本事項、ICFの枠組みを用いた対象児についての理解や情報収集、ICFの枠組みを取り入れた目標設定と計画の立案、ICFの枠組みを用いた目標と手立ての整理、などについて事例をもとに解説する。

第2日 講師(石倉 健二)

区分	時間	内容
	9:30～9:40	オリエンテーション
講義⑨⑩	9:40～11:10	<肢体不自由児教育と療育の歴史> 内容：欧米における近代以前の障害児教育、日本における近代以前の障害児教育、戦中と終戦後の障害児教育、肢体不自由児の療育の歴史、などについて解説する。
講義⑪⑫	11:20～12:50	<肢体不自由教育における教育課程と自立活動> 内容：肢体不自由教育と特別支援教育を取り巻く現状、肢体不自由教育の教育課程、自立活動の意義と内容、自立活動の進め方、自立活動の具体的な指導内容の例、などについて解説する。
講義⑬⑭	13:40～15:10	<特別支援教育における諸計画と実態把握> 内容：指導計画と個別の指導計画、個別の教育支援計画、実態把握、肢体不自由児の実態把握に必要なこと、などについて解説する。
講義⑮	15:20～16:05	<二次的問題の予防と社会資源の活用> 内容：児童生徒の健康管理、二次障害とその対応、地域生活のための社会資源、児童生徒の社会資源を理解するために、関係者の健康管理、などについて解説する。
	16:15～17:00	試験
	17:00～17:05	アンケート

※講師の都合により、多少時間を変更する可能性がありますので、ご了承ください。

<受講者の方へ>

・各会場の空調につきまして、当日の気温等に応じて調整しておりますが、会場によっては、どうしても吹き出し口とその他の場所で温度差が出てしまいます。講習当日は体温調節のしやすい服装でお越しください。